

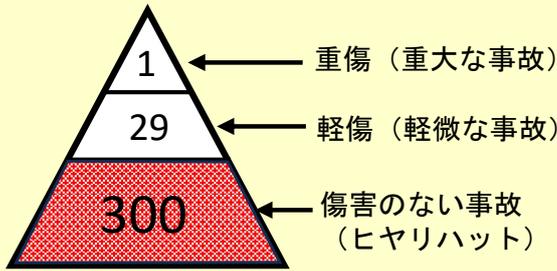
### 背景・目的

林業労働災害においては、特に伐木作業中の死亡災害が全体の7割を占めます。請負事業者等の労働災害を減らすためには、作業環境におけるリスクと不安全な行動によるヒヤリハットを把握し的確に対策を講ずる必要があります。このため、林業従事者の目線に合わせて起こり得るヒヤリハットを画像化し、視覚により分かりやすくポイントを押しえた安全指導を行ったのでその取組を報告します。

### 取組の内容

**+** 安全指導において…

#### ■ ヒヤリハットを疎かにしない



(ハインリッヒの法則より)

1件の重大な事故の影には、**300件のヒヤリハット**が存在する。

#### ■ ヒヤリハットをなくすためには

林業労働災害には、視覚的に捉えられないもの、説明しがたいものなど数多くある。それらを「見える化(可視化)」することで危険行為を認識させ、作業上の注意点を分かりやすく伝えることで同じ過ちを繰り返させないこと。

#### ■ ヒヤリハットを「見える化」する

「五感(視覚、臭覚、触覚、味覚、聴覚)」は危険をキャッチする重要なセンサー。特に「視覚」は**感覚の80%**を占め、脳を刺激するともいわれている。

#### ■ 「見える化」による具体的な伝え方

- ・ 作業者がイメージしやすいよう現地に応じたポイントとなる起こり得る**ヒヤリハットを画像**で示す
- ・ 画像は相手の**記憶に残りやすい**
- ・ 外国人の林業従事者にも**注意点が理解しやすい**

#### ■ 見える安全活動に対する現場の反応

- ・ 説明内容が**イメージしやすく**意識付けとなる
  - ・ 伝えたいことが正確に伝わり**共感**できる 等
- (※令和6年度請負事業体現地安全指導(12箇所)で実施)

### 今後の展開

作業現場に合わせた起こり得る行動パターンをさらに画像化するとともに、一方的な説明だけでなく対話型により林業従事者の考えを引き出すことがポイント。今後は、現場作業を動画に記録するなど安全作業の振り返りに動画の活用も検討してみたい。

### ヒヤリハット事例の一部



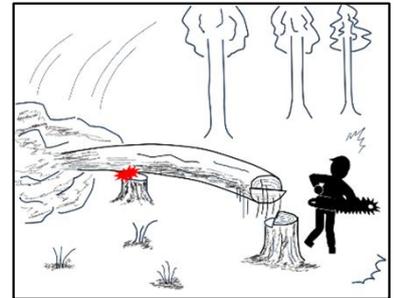
(キックバックに注意)



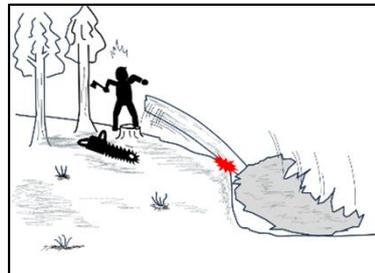
(枯れ枝など周辺の落下物に注意)



(裂け跳ね上がりに注意)



(切り株による跳ね返りに注意)



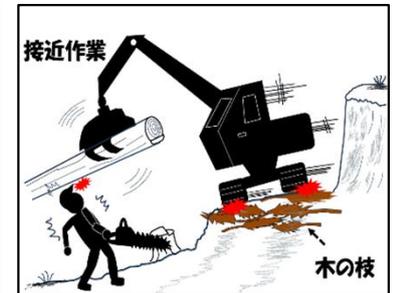
(地形による材の跳ね上がりに注意)



(退避の際のつまずきに注意)



(急傾斜地での材の動きに注意)



(枝による滑りや接近作業に注意)

